

013

歴史的建築物の維持、活用に向けた耐震化とBCPの策定

取組主体

株式会社ホテル、ニューグランド

従業員数

315人

想定災害

地震等

実施地域

神奈川県

- 歴史的建築物を維持し活用するための耐震工事を実施するとともに、宿泊施設としての役割を考慮したBCPを策定。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

耐震化を通じた50年後、100年後を見据えた施設づくり

- 株式会社ホテル、ニューグランドが運営するホテルニューグランドは、平成26年と28年に、歴史的価値のある建築物を維持しながらの大規模耐震改修工事を行った。
- 宿泊施設が災害時に事業継続を行う場合、代替拠点を確保することは困難なため、現地の復旧が中心となる。従って、建物が大規模地震に見舞われても倒壊せず、ライフラインが確保されていることが重要となる。



当時の姿を残して耐震補強を行ったバンケットルーム

- 同ホテルは、関東大震災後の復興シンボルとして昭和2年に開業した歴史ある宿泊施設である。日本を代表する近代建築家によって設計され、これまでに国内外の多くの要人が宿泊してきた。
- この工事では、内外観の姿や素材の維持にこだわり、建物を壊して建て替えるのではなく、当時の工法や材料を継承しながら安全性を高めることに成功した。

宿泊施設ならではのBCPを策定

- 同社は、平成28年より、発災時における事業継続計画（BCP）の策定や事業継続マネジメント（BCM）の構築に着手した。平成30年には、他の歴史的ホテルでBCPを策定した経験のある総支配人の指導を受けてBCP改訂を進めた。横浜市が策定しているBCPに準拠して被害状況やライフラインの復旧時間等を想定し、問題点を一つずつなくしていく作業を行うことで、事業継続力の向上を図った。
- 平成30年に改訂した同BCPは、発災時においても宿泊施設としての機能を可能な限り維持し、全社員が協力して、利用客、従業員及びその家族の安全を確保しながらサービスの提供を維持し、地域社会の早期復旧に貢献することを目指している。改訂後も定期的に机上訓練による見直し、改善によりその精度の向上を図っており、同年には宿泊・飲食サービス業界で初めて、「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）」を取得した。

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同社は、横浜市と災害時における施設等の提供に関する協定等を締結するとともに、横浜市中区の加賀町消防団に入団して、地域の防災力向上に取り組んでいる。

3 現状の課題・今後の展開等

- 今後は、BCPの更なる改善に努めるとともに、大規模地震以外のリスクを想定したBCP策定にも取り組んでいく。

担当者の声

- BCP策定及びBCM構築を通じて、本館の歴史的建築物を維持・活用し横浜の文化を次世代へと継承していく取組に、いささかなりとも貢献できれば幸いです。

問合せ先

株式会社ホテル、ニューグランド 法人番号：7020001028858

TEL：045-681-1841 FAX：045-681-1895 E-Mail：info@hotel-newgrand.co.jp